

業 種／不動産業

主な事業内容／レジャー・商業ビル賃貸業・オフィスビルの開発・運営

従 業 員 数／57人

災害時の行動を考えて備蓄品を管理

備蓄の管理方法として、「何が入っているか」「どう配るか」など誰でもわかる表を備蓄品の載ったラックに貼っている。これは防災担当者が不在でも、スムーズに備蓄を把握できるための工夫。また、箸やスプーンも食料とセット化して、食事に関する漏れを防ぐようにしている。

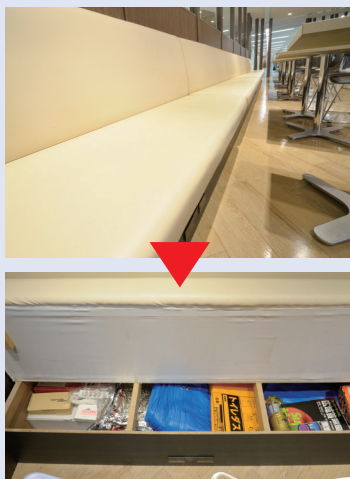
●デスク下に保管

初日の防災食は、専用のトートバックに入れて各自のデスク下に保管。すぐに取り出せる工夫を施した



●休憩スペースにも保管

休憩ラウンジのベンチ下の収納場所には、ブルーシートや地図などを保管して、出し入れの工夫がある



●倉庫での保管

倉庫には、2日目分、3日目分など小分けにして誰がみてもわかるように保管体制を築く



上:食料品とセットの箸、スプーン、お皿
右:ラックで管理。スムーズな移動が可能



グループ企業6社で災害組織を立ち上げ防災意識を高める

2015年から、HAPという災害時に早期対応できる組織を立ち上げた。災害や停電時にどうやって本社機能を立ち上げるかなど、災害時のイメージを高めて訓練を重ねている。